

# H A R E

[ハレ]

## HANARART 2014 REGIONAL REPORT

### vol.2 / 2015



は  
な  
ら  
あ  
と、  
こ  
れ  
ま  
で  
の  
こ  
と、  
こ  
れ  
か  
ら  
の  
こ  
と。



Photo Tomoya Hasegawa

#### SPECIAL THANKS お世話になった方々



**ご後援いただいた皆様** | 奈良市、大和郡山市、橿原市、五條市、御所市、生駒市、田原本町、奈良市教育委員会、大和郡山市教育委員会、橿原市教育委員会、五條市教育委員会、御所市教育委員会、生駒市教育委員会、田原本町教育委員会、奈良市観光協会、大和郡山市観光協会、橿原市観光協会、五條市観光協会、御所市観光協会、生駒市観光協会、田原本町観光協会、朝日新聞奈良総局、産経新聞奈良支局、奈良新聞社、日本経済新聞奈良支局、毎日新聞奈良支局、読売新聞奈良支局、NHK奈良放送局、奈良テレビ、ならどっとFM78.4MHz、奈良県ビジターズビューロー（順不同）

**ご協力いただいた皆様** | 西日本旅客鉄道、近畿日本鉄道、奈良交通、近鉄ケーブルネットワーク、生駒交通、生活協同組合コープ自然派奈良

**主催** | 奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会

**共催** | 奈良県

**HARE** [ハレ] vol.2は、過去4年間『はならあと』に関わったたくさんの方々の暖かい想いによって制作されました。

**HARE vol.2**制作にあたり、ご協力いただいた多くの皆様、誠にありがとうございました。

#### 奈良・町家の芸術祭

# はならあと 2015 開催決定!!

**10.10** 2015.10.10 (Sat) - 10.18 (Sun)  
五條新町 / 生駒宝山寺参道

**10.24** 2015.10.24 (Sat) - 11.3 (Tue)  
宇陀松山 / 八木札の辻 / 今井町

**10:00 - 17:00** ※一部夜間イベントあり

主催 | 奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 共催 | 奈良県

オリジナルグッズ、ガイドブック、周遊バス、宿泊プランなどなど、多数の企画が進行中！2015年度の『はならあと』にご期待ください！

詳細は公式web、Facebook、Twitterにて随時更新中 >>> @HANARART 奈良・町家の芸術祭 はならあと

#### 奈良・町家の芸術祭 HANARART メンバー

<b>[委員長]</b> 山本 陽一 (NPO法人 大和社中 理事長)	<b>[委員]</b> 上田 球也 (大和・町家バンクネットワーク協議会 会長) 大川 京 (NPO法人 大和社中) 齋藤 聡 (御所アートフェスタ実行委員会 実行委員長) 河合 正 (NPO法人 八木まちづくりネットワーク) 若林 穂 (今井町町並み保存会 会長) 田川 陽子 (大宇陀まちおこしの会) 倉橋 みどり (NPO法人 文化創造アルカ 代表) 尾上 高則 (桜井市本町通・周辺まちづくり協議会) 小川 雅巳 (生物聖天さんどう会 会長) 二十軒 起夫 (田原本まちをすきになる会)	<b>[事務局]</b> 飯村 有加 前田 展博 <b>[事務]</b> 高橋 夏樹 <b>[サポーターマネジメント]</b> 宮本 典子 <b>[物販]</b> 浦野 聡 神月 奈緒 砂川 昌広 <b>[広報]</b> 山下 遊未	<b>[デザイン]</b> 古島 佑起 (ことばとデザイン) <b>[編集/ライター]</b> 赤司 研介 <b>[はならあと部]</b> 相模 奈々 中野 太路 神月 奈緒 大塚 一枝 本岡 祥 <b>[オブザーバー]</b> 山口 豊仁 高田 大輔 堀 恵未音
--	---	--	---

#### [HARE vol.2\_CREDIT]

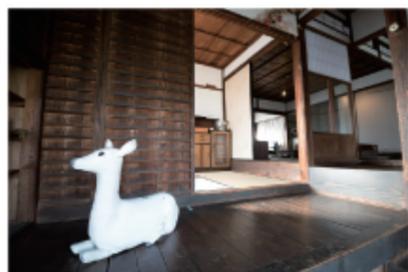
発行 | 奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 / 編集長 | 飯村 有加 (奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 事務局) / 編集 | 赤司 研介 (株式会社 シーズクリエイト) / デザイン | 古島 佑起 (ことばとデザイン) / 写真 | 長谷川 勝也、他写真をご提供くださった皆様 / 印刷 | 株式会社 シーズクリエイト

お問合せ先 | 奈良町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 / 〒639-1144 奈良県大和郡山市洞泉寺町14 / Tel-Fax 0743-25-6126 / E-mail info@hanarart.jp / http://hanarart.jp

# はならあと の 優しい風景

Scene of HANARART

今年度の『はならあと』は奈良県内8エリア、2015年11月7日～24日(月・祝)で開催。  
出展作家は85組、総来場者数は44,800人。  
さまざまな人々の交流の中で生まれた“優しい風景”を辿りながら、  
今回の『はならあと』を振り返ります。



はならあと2014  
を終えて

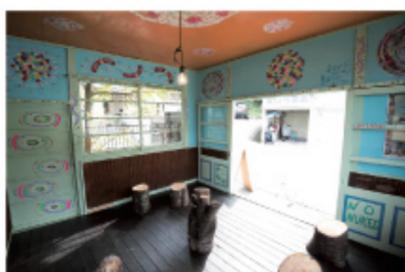
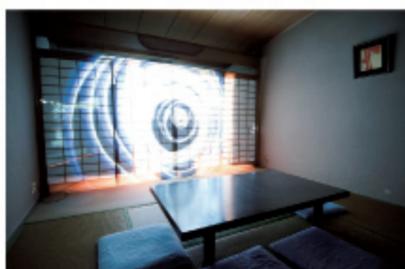
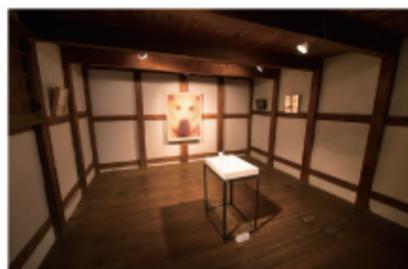
毎年10月から11月にかけて開催される「奈良・町家の芸術祭はならあと」ですが、春には会場となる空き町家の掃除を始め、実行委員会、タペストリー制作など、準備は年間を通じて行います。そして、展覧会が終わった後も、反省会をしたり、アートツアーを企画したり、次年度の準備を始めたり…。私たち「はならあと」と事務局は、一年のほとんどを「はならあと」に関わりながら過ごします。楽しいこともたくさんありますが、もちろん大変なこともたくさん。でも、一年を通じて、たくさんの人々が会話や作品を通じて交流する中には、私たち事務局しか知らない「優しい風景」を見ることがあります。ここでは、その一部をご紹介します。ですが、その前に、そもそも「はならあと事務局」って何をしているの？という方も多いと思うので、そこからご説明したいと思います。

「はならあと事務局」は、2011年度からスタッフを1〜3名雇用し、イベントオペレーターとして年間を通じた運営を続けています。書類作成には始まり、実行委員会の実施、印刷物の制作、広報対応、web管理、ボランティアマネジメント、作家さんとの連携、地域との調整など、さまざまな業務を行っています。

そんな事務局は今年度、事務所を奈良市から大和郡山市に移転しました。移転先を見つけてくれたのは「NPO法人くらす」のみなさん。約10年間空き家だった建物は、傷んでいる箇所も多く、慣れていない方が見ると「ここで大丈夫？」と思われるかもしれません。でも、空き家を活用することに慣れている「はならあと」では、使うとなると誰かが「掃除をしましょう！」と言い出します。すると、地元の人や学生さん、キュレーターや作家さん、県内外の人が自然と集まってくるのです。一緒に汗を流し、町家が綺麗になって息を吹き返した頃には、みんなすっかり仲良しに。私はそんな風景が大好きです。

お掃除に限らず「はならあと」では、立場や職業の異なる人たちが、ひとつのことに取り組みます。一致団結する場面もありますが、時には意見がすれ違い、衝突することもあります。地域型アートプロジェクトに大切なのは、オープンマインド。「こんなやりかたあかん」と、始めから拒否してしまうと、何も新しいものが入ってきません。立場の違う相手の考えを尊重しながら、気持ちを聞いて受け入れる体制があれば、それぞれに気づきや成長があるのだと、日々教わっています。





そんな毎日を経て、いよいよ「奈良町家の芸術祭はならあと2014」は始まりました。開催地域は、奈良きたまち、郡山城下町、生駒宝山寺参道、田原本寺内町、御所まち、五條新町、八木札の辻、今井町の8エリア。出展作家数85組。町家での展示は勿論、ライブイベント、体験ワークショップ、音楽ライブなど、さまざまなイベントが「はならあと」をより一層盛り上げ、総来場者数は44,800人にのぼりました。

「アート」と「まちづくり」と「町家利活用」という、それぞれ異なるテーマが「はならあと」を通じてひとつになり、共に歩む道を模索し続けています。そんな「アート」と「まちづくり」に共通しているのは、何気なく生きていると気が付きにくいおもしろさや魅力、素材、奇妙さにスポットをあてて、新たな価値を提案することではないかと、私は感じています。世の中の物事のほとんどがスピード化、インスタント化している現代において、「価値を理解しづらいこと」を追求し、さまざまな人同士の密なコミュニケーションを提案することは、時間も労力もかかりますし、時代の流れに逆行しているのかもしれませんが、空き町家の利活用も同様です。荷物整理に掃除、改修工事。冬は寒く、新築の建物と比べれば不便なことも多々あります。楽で快適だけを求めるのであれば、全部壊して、建て直した方が早いのは間違いないと思います。

にもかかわらず、「アート」と「まちづくり」と「町家利活用」が一つになれる理由。それは、労力を超える価値魅力が確実にそこにはあるから。そして、それを伝えたい、残したいという熱い想いを持っている人たちが活動しているからだと思えます。アートを見てハッとさせられる瞬間、ふとしたまちの日常の風景に感動した瞬間、くたびれた町家が息を吹き返し、過去の穏やかな空気を現代に運ぶ瞬間。自分が感じた瞬間の価値を信じ続けている人たちが、「はならあと」には集まっています。表面上は相容れない関係に見えるアートもまちづくりも町家利活用も、根底の想いは共鳴していると実感する毎日。事務局は、その情熱が生み出す「優しい風景」に囲まれて、日々業務についています。

「地域とアート」「まちづくり団体とキュレーター」「町家と作家」、これらすべての中間にいる事務局は、これからも常に中立的な視点を持って望みたいと思います。たとえ自分が納得しづらい意見があったとしても、その意図を理解するよう務め、気持ちに寄り添いながら、より多くの人と共に「はならあと」を創っていきます。みなさん、これからもどうぞよろしくお願ひします。



# はならあとが取り組んできたこと

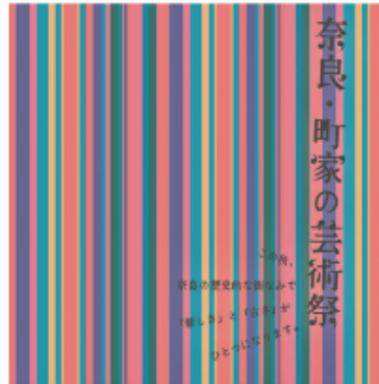
History of HANARART

2015年度、5回目の開催を迎える『はならあと』。その軌跡を辿りましょう。



[会 期] 2011年10月8日(土)~10月30日(日)  
 [開催エリア] 今井、八木、五條新町、三輪、宇陀松山、ならまち、郡山城下町  
 [サテライト会場] 高取土佐、初瀬、田原本  
 [出展作家] 約70組  
 [総来場者数] 約42,000人  
 [テ - マ] 「はな・ハナ・HANA」

奈良県内各所にある町家・町並みの魅力を発信する方法を模索していた「なら・まちづくりコンシェルジュ」(※魅力ある地域の創出を目指して、まちづくり活動を行う団体などを継続してサポートする奈良県の制度)平成25年3月時点で13名の県職員が任命された。このメンバーが、「奈良アートプロム(NAP)2010」(※奈良から未来と世界に向けて発信する現代美術同時多発展)を知ったことが、『はならあと』



奈良県内各所にある町家・町並みの魅力を発信する方法を模索していた「なら・まちづくりコンシェルジュ」(※魅力ある地域の創出を目指して、まちづくり活動を行う団体などを継続してサポートする奈良県の制度)平成25年3月時点で13名の県職員が任命された。このメンバーが、「奈良アートプロム(NAP)2010」(※奈良から未来と世界に向けて発信する現代美術同時多発展)を知ったことが、『はならあと』



[会 期] 2012年10月27日(土)~11月4日(日)、11月11日(木)~11月11日(日)  
 [開催エリア] 五條新町、御所市名柄、郡山城下町、田原本寺内町、八木札の辻、三輪  
 [出展作家] 約130組  
 [総来場者数] 約58,000人  
 [テ - マ] 「つながり、そだてる、アートとまちづくり」

初年度の開催を終え、①歴史や文化と向かい合う、②まちづくり団体や地元住民の方と皆で取り組む、③アート展だけではなく、色々な空き町家の活用方法を探りたい、という課題が出ました。そこで、キュレーター(※一つのテーマのもと、作家や作品をコーディネートし、各会場での展覧会を統括する指揮者)を公募する「こあ」部門を初開催。同時に、作家がお気に入りの場所で、自由な発想で開催する自主企画現代アート展「もあ」部門を開催。さらに、地元学校でのワークショップや地元企業と作家によるグッズ開発などを提案や、大和町家サブリースPROJECT(※期間限定のサブリース(又貸し)での町家活用促進プロジェクト。国土交通省委託事業)も同時期に開催されました。



2012年度を終え、アートイベントとしてのさらなる充実、より多くの人を巻き込んでいく企画実施が目標となりました。そこで、約2ヶ月間で8エリアが順番に開催していく初のリレー方式が実施されました。また、昨年度に引き続き、公募キュレーターによる企画展が開催される「こあ」部門、自主企画現代アート展「もあ」部門の他に、長期滞在型アート展「あ」部門、現代アートの範疇に収まらない表現活動や地域に古くから残るお宝を紹介する「玉手箱」部門が新たに設定されました。過去最大の開催期間、開催規模の結果、来場者数は過去最高数となり、イベントは大変な盛り上がりを見せました。しかし、適正規模を上回る開催規模に被曝する地域やスタッフが現れ、

「はならあと」本来の目的とは何か  
 ・イベント期間のみの盛り上げ  
 ・「はならあと」本来の目的とは何か  
 ・イベント期間のみの盛り上げ

[会 期] 2013年9月7日(土)~11月26日(火)、8エリアリレー方式で開催  
 [開催エリア] 五條新町、御所市名柄、八木札の辻、今井町、郡山城下町、宇陀松山、奈良きたまち、桜井本町  
 [出展作家] 約290組  
 [総来場者数] 約95,300人  
 [テ - マ] 「アート×地域の姿(れん)響(び)反(あ)る(は)のう」

## イベント名に込めた思い



奈良をアートで華やかにし、町の花を咲かせよう

『はならあと』の言葉のルール  
 「奈良」…奈良県内を広く指し、奈良市内に特定しない。  
 「町家」…歴史的建造物に特定しない。町の魅力を形成している建物すべてを指す。

はならあと  
 について  
 About  
 "HANARART"

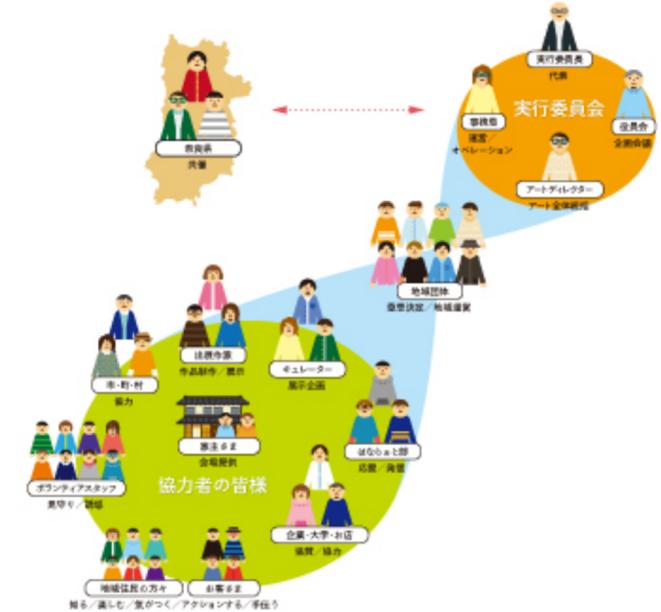
## はならあとが目指していること

『はならあと』が目指すのは、現代アートを入口とした町家の利活用と地域価値の維持、向上のサイクルを年間を通じた活動によって作ることです。町家が、家主さんと借り手との良好な関係性のもと、有効活用されることで、町並みはもちろん、文化や営みが守られ、引き継がれていく状況を育てていきます。

## はならあと関連図

『はならあと』は、地域価値の維持・向上を目標にみんなでつくる「町家を使った現代アート展」です。

『はならあと』は、毎年たくさんの方々にご協力いただき、役割分担をしながら作り上げています。特に、開催地域の調整を、それぞれの地域団体が担当しているのは、全国的にも珍しい取り組みです。





## 奈良きたまち



REGIONAL REPORT:01  
HANARART\_Core  
NARAKITAMACHI

開催 | 11月7日(金) - 16日(日)  
運営 | NPO法人 文化創造アルカ

## 開催エリアによる 公開プレゼンテーション大会

「はならあと ことあ」開催3エリアのまちづくり団体が、出展キュレーターに向けて自身の町の歴史や問題点、現代アートに期待することをスライドと共に公開プレゼンテーション。アートに対して一方的に地域の再解釈を委ねるのではなく、地域の現場の方々が自らの町をどのように捉えているのかを明確にすることで、参加するキュレーターや作家にとっても、今年企画の中で地域とより深く向き合い、ここで表現することの必然性を高めていく機会の創出を目的としました。



## 名前の表記、公式ロゴの変更

過去3年間ローマ字で「HANARART」表記であった名前を平仮名の「はならあと」に変更。イベント名の表記変更に合わせて、公式ロゴデザインを一新。仮名文字本来の柔らかさをイメージした文字に、現代アートと地域の力を中心に、溢れ出るエネルギーをイメージした朱色の二重丸を合わせました。

(横組)

奈良・町家の芸術祭

はならあと

ART FESTIVAL HANARART

(縦組)

はならあと

奈良・町家の芸術祭

ART FESTIVAL HANARART



空き家活用促進の  
可能性を感じて立候補  
このエリアの運営を担当したNPO法人「文化創造アルカ」の倉橋みどりさんは、普段は「奈良きたまち」の情報を編集・発信することを中心に、地元商店街、店舗や団体などともつながりながら、より良いまちの在り方を考えて実践する活動を行っています。

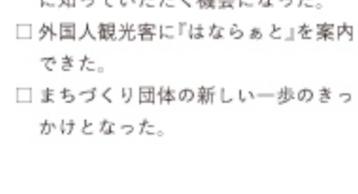


そんな中で、「はならあと」史上最多となる50組超のアーティストが参加し、大変な盛り上がりとなった。「はならあと2013」に参加。空き家予備軍も含めた空き家の活用促進が、「これからのまちづくりには有効である」と広く知ってもらったことに加え、2014年度のこと「はならあと」に立候補したそうです。

### うれしいエピソード

- サポーターさんが手書きの工場歴史紹介を作成してくれた。
- 会場オーナーさんに、見慣れている場所が違う表情を見せる「アートの力」を実感していただいた。
- いろいろな店舗の魅力を、年配の方に知っていただく機会になった。
- 外国人観光客に「はならあと」を案内できた。
- まちづくり団体の新しい一歩のきっかけとなった。

空き家再生事例紹介など、読み応えのあるガイドブックとなりました。「はならあと」の目的を文章とイラストにすることで明確な形で再構築。県内外の書店30店舗にて委託販売しました。



空き家再生事例紹介など、読み応えのあるガイドブックとなりました。「はならあと」の目的を文章とイラストにすることで明確な形で再構築。県内外の書店30店舗にて委託販売しました。

空き家活用促進の  
可能性を感じて立候補  
このエリアの運営を担当したNPO法人「文化創造アルカ」の倉橋みどりさんは、普段は「奈良きたまち」の情報を編集・発信することを中心に、地元商店街、店舗や団体などともつながりながら、より良いまちの在り方を考えて実践する活動を行っています。

そんな中で、「はならあと」史上最多となる50組超のアーティストが参加し、大変な盛り上がりとなった。「はならあと2013」に参加。空き家予備軍も含めた空き家の活用促進が、「これからのまちづくりには有効である」と広く知ってもらったことに加え、2014年度のこと「はならあと」に立候補したそうです。

空き家再生事例紹介など、読み応えのあるガイドブックとなりました。「はならあと」の目的を文章とイラストにすることで明確な形で再構築。県内外の書店30店舗にて委託販売しました。

空き家再生事例紹介など、読み応えのあるガイドブックとなりました。「はならあと」の目的を文章とイラストにすることで明確な形で再構築。県内外の書店30店舗にて委託販売しました。

## 公式ガイドブック販売

各開催エリア紹介をはじめ、現代アートの見方、町家入門、作家インタビュー、地元のお店で使えるクーポン、空き家再生事例紹介など、読み応えのあるガイドブックとなりました。「はならあと」の目的を文章とイラストにすることで明確な形で再構築。県内外の書店30店舗にて委託販売しました。



## 現代アート勉強会ツアー

過去4回開催されてきた「はならあと」の現場で地域に芽生えた「アーティストが地域に寄り添ってくれるように、地域側ももっとアートのことを知り「はならあと」をさらに良いものにしていきたい！」という気持ちから、実際にアートの現場をまちづくり団体で見学して回る勉強会ツアーを開催しました。



## はならあとの 新しい取り組み

Challenge of HANARART

「はならあと2014」では、さらにより良い活動となるように、いろいろな新しい企画に積極的に取り組みました。

## はならあと 周遊バス企画

「はならあと ことあ」開催3エリア(奈良きたまち、郡山城下町、生駒宝山寺参道)を半日かけて周遊するバスが週末運行。日によって変わる個性豊かな添乗員による解説が好評となり、最終日付近には満席御礼となりました。



# 生駒宝山寺参道

REGIONAL REPORT:02  
HANARART\_Core  
IKOMAHOUZANJISANDO

開催 | 11月7日(金) - 16日(日)  
運営 | 生駒聖天 さんどう会



## 不思議なご縁に 導かれた初開催

「生駒の聖天さん」とばれ、人々の信仰を集める宝山寺。お寺へと続く参道は、かつては大阪の奥座敷と呼ばれ、賑わいとエネルギーに満ち溢れていました。そんな観光生駒の復活を目標に掲げる「生駒聖天さんどう会」は、地元メンバーを中心に、今に残る宝山寺参道の古き良き町並みを再生・有効利用した、

新たなまちづくりに取り組んでいます。活動を始めて2年、参道内だけでなく、県内にいるいろいろな繋がりを持った活動をしていきたいと考えていた矢先に舞い込んできたのが、「はならあと」でした。「実は、以前から「はならあと」のことは知っていて、宝山寺参道でもやってみたい」とのことで、はならあとと生駒聖天さんどう会が、都会の喧噪を離れた静かで落ち着いた場所でありながら、華

やかで楽しむことができる場所。きつと「はならあと」に向いていると思っ、「さんどう会」(会長 小川雅巳)さんは、当時を振り返りながら嬉しそうに話しています。仲間とそれとなく話していた「はならあと」開催の夢が、偶然か必然か、翌年には叶うことになったのです。

もの空き家情報が寄せられています。魅力をアートの力で創出する。「いつか、生駒でアートが楽しめる場所といえば、宝山寺参道」と言われるように、なりたいんです」と小川さん。生駒在住のアート・音楽関係者はとても多く、それは遠い夢ではなさそうです。「はならあと」2014でこあ会場となった「旧たき万旅館」が「おかげ様」と改名し、ゲストハウス・コミュニティ・スペース・貸アトリエ・ライブ会場など、多目的に利用できる建物として新しく生まれ変わることが決まったのです。色々な人が出入りし、人の流れを生み出した。そんな想いの元、改修が進み、運営方法が話し



## うれしいエピソード

- 荒れた旅館が再生した実績が生まれ、今後の空き家改修活動の自信に繋がった。
- 会場の物件を使いたいという人が現れた。
- 「はならあと」期間中お客さんが増えたので、近鉄ケーブルから来年度はもっと協力したいという声掛けをいただいた。
- 会場となった空き家をギャラリーやカフェとして借りたいという話が出た。

# 郡山城下町

REGIONAL REPORT:03  
HANARART\_Core  
KORIYAMAJOKAMACHI

開催 | 11月7日(金) - 16日(日)  
運営 | NPO法人 くらす\*



## 「はならあと」と 共に歩んだ4年間

初年度から4年続けて、「はならあと」のメインエリアを担当している郡山城下町。中心になって運営している小山豊さんは、2012年度の「はならあと」終了後、「郡山の人が思ってもみないような、すごいまち」になってほしい。歴史と文化に培われて発展してきたこのまちにはその土壌があり、必ずできる。今回その手応えを感じたと話していました。それから2年、「はならあと」がきっかけとなり、情報交換や意見交換の場を大事にしなが、ネットワークによるまちづくり活動を行う「NPO法人 くらす」が誕生。「最近、郡山のまちが変わってきたと感じている。住み続けるなら、良いまちの方が嬉しい。だから私もまち



「はならあと」に参加したいと思っ、た」と話すのは、今年初めて「はならあと」にサポーターとして参加した地元の主婦の方。「くらす」が地元住民の想いの受け皿となり、その活動がさらに認知されるという良い循環が広がりはじめているようです。

から楽しさを見つけ出し、提案していく。そんな「くらす」のまちづくりに対する素敵な姿勢が垣間見えるようです。まちづくり団体とは、市民にとって、まちの価値を伝える。キュレーターなのかもしれません。

場となった「南大工町の家」では、今年新たにカフェ「つむぎ」がオープン。「はならあと」会期中に期間限定でカフェを出店し、好評を博したお店の満を持しての出店に、地域の期待も高まっています。「K Coffee」と「ほん」は、多くのメディアに取り上げられ「ひとたらい市」等の定期的な催事もやなぎまち商店街と連携しながら継続的に開かれています。「郡山に関わってくださったアーティストとのお話を大切にしながら、「はならあと」以外でもまちの方々がアートに接する機会を作り、今後も人の想い」と、まちの未来を見つめ、小さな視点と大きな視点を持って活動を続けたいと小山さん。緩やかに着実に進む、その大きな歩みから今後も目が離せません。

郡山城下町エリアでは今年、開催エリアを、やなぎまち商店街(周辺)に集中しました。新しくできた後述のお店「K Coffee」と「ほん」も交えながら、地元小学生の通学路でもある、公園や小道を歩いて会場に到着するお散歩コース。郡山で生活する人にとっては何でもないような景色も、「はならあと」のお客さんには特別な体験になる。「普段の生活する場所

過去「はならあと」会場になった空き家の活用も進んでいます。旧川本邸近くの「河泉寺町の町家」は、はならあと事務局も使用し、銭湯大門湯のあるやなぎまち商店街4丁目界隈では、ガソリンスタンド跡で自家焙煎のコーヒー豆を提供する「K Coffee」が、元豊屋にできたレンタルスペース「柳花簾」には、店主の選んだ本や雑貨が楽しめる「とほん」に、はならあと2014でこあ会場

## うれしいエピソード

- 免震工事が始まる「旧川本邸」での展示に関する問題は、改修工事を前に改めて、活用方法について問題提起できる場となった。
- 地域の人々が着物で出てきてくれた。
- 近所の人々が、会期前に道を掃除してくださるようになった。
- 「空き家を探している」と問い合わせがあった。
- 毎年「はならあと」を見に来てくれた人が、今年はサポーターとして手伝ってくれることになった。

# 田原本寺内町

開催 | 11月8日(土)~9日(日) / 運営 | 田原本・まちをすきになる会

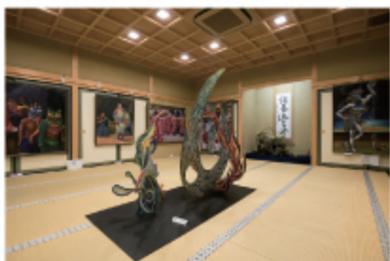


担った「田原本・まちをすきになる会」の二十軒起夫さんは、展示作品を眺めながら嬉しそうに話します。

## 地域の魅力を感じる展示たち

田原本在住の石と漆の造形作家、地元小学生の描いた町並み写生展、地域に根付く伝統の祭りを描く画家、大神神社に絵馬を奉納している画家、地元縁のある作家が集まった今回の「はならあと」は、田原本という地域の魅力を感じることが出来る展示となりました。

## 今後は地元商店街との連携を



次年度は開催が見送られた田原本寺内町ですが、地元商店街と連携して、また「はならあと」を開催しようという話で盛り上がりつつあるのだとか。素晴らしい町家が至るところに残る田原本寺内町。多くの方が再びの「はならあと」開催を心待ちにしています。

## 大好きなアート、だから楽しい

寺内町・陣屋町の町並みをほぼそのまま残す「田原本寺内町」エリアは「はならあと」開催エリアの中でも、独特の雰囲気を持つ魅力的な町です。江戸時代前期に建てられた「村田東平家」をはじめ、多くの貴重な建築物の保存と活用を目的に「田原本・まちをすきになる会」が活動をスタート。「アートを見るのが好きなんです。特に抽象的な作品が。今回は短い開催期間でしたが、とても楽しかったです」。運営のほとんどを

## うれしいエピソード

- 地元の小学校3校が描いた田原本の町並み写生展が好評
- 小規模でも参加できるとわかったので、今まで参加したことのない地域も開催してみれば良いとの声
- 地元作家が来場者をギャラリーに招いて会話が盛り上がる

# 御所まち

開催 | 11月9日(日) / 運営 | 御所アートフェスタ実行委員会



## 市民参加型で盛り上がった「はならあと」

初めての「はならあと」開催となった「御所まち」エリアですが、過去には、同じ御所市内の少し離れた「御所市名柄」エリアとして参加していました。その際、つながりのできていた作家が今回も出展し、地元住民を巻き込む参加型インスタレーションを企画・運営。初めての「はならあと」開催ながら、地元住民に大きなインパクトを残しました。

## 能動的なまちづくりを御所まちから

出展作家の一人、帖佐陽師さんは「当日までに地域をリサーチし、

簡単なワークショップを兼ねたアンケートを行いました。コンセプトを説明すると、おもしろがって積極的に参加してくれる方が多く、まちの方に能動的に参加してもらえるような潜在的な能力がある場所だと強く感じました」と



## 霜月祭との同時開催

16回目の開催を迎えた祭り縁日「霜月祭」で開かれる「町家ミュージアム」では、御所まちの歴史ある町家や歴史資料が一般公開され、多くの来場者が訪れます。「霜月祭」ファンの方々に「はならあと」で御所まちの違った顔を見ていただきたい。「はならあと」ファンの皆様には、御所まちを知っていただくきっかけになればと思い、同時開催を決めました」と、霜月祭実行委員長の六田誠良さんは話します。

## うれしいエピソード

- 白い風船を持ってまちを歩く人がたくさんいる光景が素敵だったとの声
- 参加型インスタレーションに興味をもって積極的に参加してくれる方が多かった
- 地元小学生対象のペイントワークショップが大人気

# 今井町

開催 | 11月15日(土)~23日(日) / 運営 | 今井町町並み保存会



奈良県立医科大学の学生が中心となり企画された、文化音楽と医療を融合させた「着物でJAZZ」は、心のバリアフリーをテーマに開催。演奏者は全員着物、観客も着物で音楽を楽しみます。「着物×JAZZ」という新しいジャンルの組み合わせ。これが私の考える、現代アートなんです」と、「今井町並み保存会」会長の若林裕さんは熱く語ります。ライブ中には、普通パフォーマンズや豚汁の振る舞いがされるなど、「おもてなし」の今井町を楽しむことができました。

を決定した今井町「町内に点在する江戸時代からの伝統的な空き町家に新しい息吹を吹き入れ、「はならあと」への心意気を拡大していく元年にしたい」と若林さん。また、同じ橿原市でお隣同士の「八木札の辻」エリアとの連

## 感性を育て、人を育てる

「今井町並み保存会」は、全国町並み保存連盟を立ち上げて、町並みはみんなのもの。を標榜しつつ、長年に渡り町並みや建物を守りながら、先進的な活動を続けています。「はならあと」も、人の心や感性を揺さぶる機会の創出し、感性を育て、人を育てていきたいという思いで開催してきました。

## 新しいアートジャンルを今井町から発信！

動企画も構想中。気持ちも新たに、今井町の「はならあと」が始まるうとしていきます。

## 意気込みを拡大する元年に



## うれしいエピソード

- 「はならあと」が開催されるたびに「今西家借家」は千葉大学の学生たちによって少しずつ改修が進められている
- 作家が展示会場を気に入り、作品を2点寄贈
- 「着物でJAZZ」を通じて他大学学生の交流が生まれる

# 八木札の辻

開催 | 11月20日(木)~24日(月・祝) / 運営 | NPO法人八木まちづくりネットワーク



「はならあと2014」に出展応募したものの、理想的な展示スペースが無く、出展を諦めかけていた作家がいました。そこで「八木ネット」の河合正さんは3m以上にもなる木枠を手作り、無事展示された作品は小さい子どもに大人気の作品となりました。八木のまちには、作家と一緒に「はならあと」を作る、そんな豊かな想いが育まれています。

空き町家が奈良芸術短期大学協力のもと、ギャラリー「sacca」としてオープンしたのです。お客さんがゆっくり休憩できる場所を増やしていきたいなあ、以前からそう話していた「八木ネット」理事長である平田元さんの想い

## 次々生まれる「はならあと」効果

「NPO法人八木まちづくりネットワーク(以下、八木ネット)」は、札の辻周辺の歴史・伝統文化を活かし、生き生きとした町を引き継いでいくことを目標に活動しています。新しいエネルギーが刺激となり、地域に活力が生まれればと「はならあと」に参加。空き町家がカフェやギャラリーになる、若い女性二人が「八木ネット」メンバーに加わるなど、嬉しい「はならあと」効果が次々と生まれています。

## うれしいエピソード

- ナイトビューイングで作家が突然、屋内作品を野外に運び出した。幻想的な光景と作家の発想力に、まちの人が感動した
- 八木への移住を夢見ている作家が毎年出展、まちの人と大の仲良しに

# 五條新町

開 催 | 11月15日(土)-16日(日) / 運 営 | NPO法人 大和社中



開発です。

赤根色に染まった  
新町通り

横浜美術大学教授の加藤良次さんが企画したインスタレーションによって、約1300本もの赤根染めされた布が新町通りを揺らめく光景に、道行く誰もが息を呑みました。「朝・昼・夕で違う景色になるんです。特に、朝日に照らされた新町通りは綺麗で」中心メンバーの一人、大川京さんは嬉しそうに話します。

地域の名品を  
皆の手で育てていく

今の日本で主に赤根染めに使



用されるのは、インドアカネという海外産の植物。大和社中では、地元の福祉施設などに、ニホンアカネの株を分け、植栽をしています。「いつか、100%ニホンアカネで染めた赤根染めを完成させたい。そして、地域の名品として

「赤根染め」で  
「あきない」まちに



「五條新町通りを、あきない(飽きない・商いのまちへ)をコンセプトに長年に渡りまちづくり活動を行ってきた」NPO法人大和社中。「はならあと」をきっかけに横浜美術大学と連携し、地元小中学校でアートワークショップを企画するなど、積極的な活動を続けてきました。そんな「NPO法人大和社中」が今力を入れて取り組んでいるのが、かつて五條で行われていた「赤根染め」の再現と、それを用いた新たな商品

## うれしいエピソード

- 地元主婦が作った赤根染め商品が大好評
- 手伝いに来た横浜美術大学の学生に「NPO法人 大和社中」メンバーが五條の歴史を解説。新たな交流が生まれる
- 去年楽しかったから、今年も見に来ました！という来場者の声



# はならあとの これから

Future of HANARART

『はならあと』の未来について、お話を伺いました。



## 山本 陽一

奈良・町家の芸術祭 HANARART  
実行委員会 実行委員長

2014年度で4年目を迎えた『はならあと』は、これまで3地域とぶらす5地域で開催してきました。『はならあと』は、町家と現代アートとの出会いによって、地域にとっても、アーティストにとっても、新たな価値＝魅力を生み出し、創造していく取り組みです。

現在、地域によって差はありますが、空き家などの古い建物は、活用に知恵を絞らなければ廃墟となって治安、文化、活力のいずれをとっても地域の負の遺産となってしまう。この建物の「古さ」を逆手にとって、現代アートとのコラボレ

はならあと 2014を終えて

ションにより、新しい価値ある資産として生まれ変わります。今年のご開催地域の会場になった空き家が、最近、新たな活用に向けてスタートしました。このように、『はならあと』の成果が続々と現れてきています。今後も『はならあと』を通して、建物の価値を増加させ、環境面での価値の増大にもつながって、その地域がさらに活性化することを願っています。



## 山中 俊広

奈良・町家の芸術祭 HANARART  
実行委員会 アートディレクター

現場で何度も言い続けてきましたが、地域とアートが対等になる。という関係性は欠かせません。地域側とアート側の双方にある『はならあと』をおこなう意義目的、互いに対話を重ねてその差異を確認しあえる環境を確保し続けるという、地道な行動と意識の共有なくして、『はならあと』のこれからは作れないと思っています。

『はならあと』は次回で5年目。毎年やっていく皆さんのアトト達は、そのつど新しい発見と課題を残してくれれます。理想の『はならあと』って一体？



一つわかったことは『はならあと』は参加するだけでなく一緒につくればもっと楽しい！ってことです。奈良の魅力を見出し、どんどん奈良が好きになっていく我々サポーターです！

## はならあと部

奈良・町家の芸術祭 はならあと  
公募スタッフ

## 支え合いのサイクルを 『はならあと』で



## 飯村 有加

奈良・町家の芸術祭 HANARART  
実行委員会 事務局

今まで『はならあと』が歩んできた道のりは、決して平坦ではありませんでした。しかし、奈良県地域デザイン推進課の皆様はじめ、多くの『はならあと』に可能性を感じている。人達の応援を追い風に、少しずつ前進してきました。

初年度からメインエリアとして『はならあと』を牽引してきた「郡山城下町エリア」が、2015年度、開催をお休みすることになりました。郡山城下町には、『はならあと』を開催してきた間にNPO法人が誕生し、新しい店舗が生まれ、地域独自のイベントが定着し、地元住民の間でも「郡山がちょっと変わった」という認識が生まれ始めています。

増える、地域と深く関わり続ける作家が生まれる。そして、まちづくり団体が色んなイベントを企画・運営できる。地域力が育まれる。力のついた地域は『はならあと』を卒業し、今度は地域の垣根を越えて『はならあと』未経験の地域のサポートを行う。そんな、地域同士が互いに支え合うことのできるサイクルが『はならあと』をきっかけに生まれる。良いなあと感じます。

今後は、まだ『はならあと』を開催したことの無い地域に、私達から開催を呼びかけ、奈良県全体で、地域力の底上げと、アートの普及に貢献したいです。そうすることで、『はならあと』はさらに広い意味を持つ活動になると思っています。